

編集後記

プラズマ・核融合学会誌の編集委員を二年間担当させていただき、後ほど発行される担当企画の仕事がもう少し残りますが、任期の終わりで間も無くというところです。編集委員や事務局の皆様には大変お世話になりました。企画は最新の高解像度ブラックホール観測に関するもので、事象の地平近傍のプラズマ現象を扱っています。ブラックホールといえば子どもの頃に読んでいた科学読み物の定番でした。私の専門はそこからだいぶ離れたのですが、企画記事を通して久しぶりに縁ができたようで、プラズマ分野の間口の広さを感じています。

最近では少しずつ国内・海外出張が解禁されてきており、オンラインで実施されてきた編集委員会も名古屋に集まって行うようになっていくことと思います。私自身は2019年秋ごろにアメリカに行ったのが最後の大きな出張です。出張の時のいくらかの空き時間に、会場まで少し回り道したり公園に行ったりするだけでも色々なものに出会うことができます。アメリカで定番のリスや、日本と変わらない姿の猫と洋風な猫、郊外では鹿の親子、運が良い日は

アライグマや鴨の行列、白いリスなどを見つけられるかもしれません。お店や花壇の飾り付け、レンガと石畳の質感、日の長さが違えば朝日や夕日の色合いといったものも、その土地ならではの雰囲気を感じられて飽きないものです。普段の生活圏だといつの間にか信号や周りの車を意識するぐらいになっていきます。実際、それで事故にも迷子にもならず目的地に辿り着けるわけですが、外から来た人は同じ場所でもっと魅力的なものに出会っているかもしれません。

論文に加えて学会もオンライン化が進み、読みたい記事や聞きたい発表に自室からピンポイントでたどり着くようになりました。一方で、発表会場を歩き来るときの雑誌のページをめくっていきときは、知らない情報の中を散策するような感覚があり、ときに予想もしない研究を見つけることもあります。ピカソの言葉に「私は探さない一出会おうのだ」というのがありますが、そのためには最適化したシステムで失われがちな冗長性や偶然性が必要で、このあたりにオンラインにはない良さがあるような気がしています。(森高外征雄)

プラズマ・核融合学会 役員

会 長：竹入康彦	米田仁紀（推薦委員長：研究助成，男女共同参画委員長）
副 会 長：上田良夫（研究部会連絡会委員長）	
常務理事：市口勝治（総務委員長）	
理 事：渥美寿雄 出射 浩（編集委員長）	井 通暁 大勢持光一（財務委員長）
大原 渡 金子俊郎	村上 泉 横峯健彦（年会運営委員長）
木戸修一 兒玉了祐（企画展示検討委員長）	白藤 立（企画委員長） 花田磨砂也（推薦委員長：学会賞）
林 伸彦（広報委員長） 藤田隆明	渡邊隆行（支部・地区研究連絡会委員長）
監 事：立松芳典 前田達志	

プラズマ・核融合学会 領域長

プラズマ基礎 井 通暁(東大) プラズマ応用 渡邊隆行(九大) 核融合プラズマ 藤田隆明(名大) プラズマ炉工学 上田良夫(阪大)

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：出射 浩(九大) 副委員長：村上 泉(核融合研)
エディタ：古閑一憲(九大)，比村治彦(京都工繊大)，波多野雄治(富山大)，重森啓介(阪大)，藤田隆明(名大)，村上定義(京大)
編集委員：安部勇輝(阪大)，諫山翔伍(九大)，市原大輔(名大)，井戸 毅(九大)，占部継一郎(京大)，枝尾祐希(量研)，大宅 諒(九大)，勝川行雄(国立天文台)，川手朋子(核融合研)，佐久間一行(弓削商船高専)，佐々木渉太(東北大)，佐藤直木(東大)，神藤勝啓(原子力機構)，鈴木陽香(名大)，關 良輔(核融合研)，高橋宏幸(東北大)，竹崎太智(富山大)，田中 学(九大)，辻井直人(東大)，中村 誠(釧路高専)，畑 昌育(量研)，福本正勝(量研)，藤原 大(NTT)，前山伸也(名大)，森田大樹(宇都宮大)，矢嶋美幸(核融合研)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第98巻第7号

編集・発行
〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階 印刷 株式会社荒川印刷
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会 2022年(令和4年)7月25日
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485
E-mail: plasma@jspfor.jp URL: http://www.jspfor.jp/ 定価1,430円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。